

特集

検査室を支える企業力 2021

兵庫県立淡路医療センター(県立9病院) × メディアス

「Medyus2-DR」で検査薬管理

発注の自動化や納入作業負担など軽減

兵庫県立淡路医療センター(洲本市、441床)は、臨床検査薬の管理システムが更新時期を迎え、2020年4月、メディアスの「Medyus2-DR」を導入した。以前は病院に入荷した各検査薬のバーコードをそれぞれ読み取る必要があったが、同システムでは、1つの二次元コードを読み取るだけで一括入荷できるようになり、納品時の作業が大幅に軽減。また、検査薬の使用動向などをクラウドサービスで管理することもでき、新規採用や変更の検討に役立っている。



県立9病院で一斉導入

兵庫県には県立病院が計14あるが、そのうち検査部門に正規職員がいる9病院では毎年、病院間の人事異動がある。このため9病院の検査部は技師長会を組織し、業務標準化などの各種委員会、情報共有や人材育成、病院間の業務の標準化などに共同で取り組んでいる。

臨床検査関連のシステムや装置、試薬などは9病院で情報交換してできるだけ同じ製品を採用、集約してスケールメリットを活かした価格交渉を行っている。また、臨床検査技師が異動先でも同じ機器・試薬を使えると業務の標準化やリスク回避にも結び付く。

検査薬の管理システムについても9病院が同じシステムを使えるよう技師長会で後継システムを検討。必要な仕様などを決定し、県の入札でメディアスのMedyus2-DRが落札して採用が決まった。

9病院が採用する検査薬は合計で

約3800品目以上。更新検討の主要メンバーだった淡路医療センターの三村喜彦検査技師長は、後継のシステムは「これら9病院の品目全てのデータを集約できることが必要だった」と話す。また、各病院から最寄りの納入業者に正しく発注を送る仕組みが必要でもあった。

Medyus2-DRは、検査薬の発注や在庫の管理、棚卸処理などができる。18年12月に施行された改正医療法や、ISO15189への対応を視野に入れて設計されており、検査薬の使用期限やロットの管理、管理台帳の自動作成などの機能を備えている。

同じ試薬でも前回の入荷時と異なるロットや使用期限の場合には、それらの情報をシステムが把握して表示し、保管時の混在を防止。また、データは、院内サーバーを使用する方法とインターネットのクラウドサービスを利用して管理するいずれかを選ぶことができる。クラウドサービスを利用した場合、データ管理用の端末やサーバーの設置などが不要とな



三村氏

るため設備投資費用を軽減できる。これらの機能や集約できるデータの量などは、県立9病院が求めていたニーズと合致。

納品作業が軽減

淡路医療センターは、瀬戸内海の淡路島にある唯一の公立病院で、地域の中核病院として島民の医療を支えている。1日平均外来患者数は766人(20年11月実績)。検査・放射線部には臨床検査技師計35人が所属している。また、同センターで購入実績がある検査薬は約570品目となっている。

Medyus2-DRにより、院内では検査薬の納品作業が大幅に軽減した。以前のシステムでは入荷した際、製品ごとにバーコードを読み取る作業が必要だった。Medyus2-DRでは、入荷の際に添付される検収書の二次元コードを読み取ることで、全ての検査薬の情報を一括して入力できる。

渡邊文也技師は、「1つの二次元コードを読めば納品が済み、作業時間の短縮につながっている」と話す。自動発注により業務負担も軽減し、検査結果の解析や診療部と関わる時間を減らすようになるなど、臨床に貢献する業務に充てられるようになったと考えている。

また、同部ではマイメニュー機能を活用。使用用途に合わせて、IDと表示画面を事前に設定し、操作する人が必要な処理を迷わずに分かりやすく

しているという。具体的には、検査薬の発注、納品、払い出しといった日常業務となる機能のみを表示さ

せるIDと試薬マスタ管理や情報の抽出といった機能を使用する試薬係用のIDを作成し、それぞれの業務に必要な操作ボタンのみが表示されるようにして関係のないメニューは表示されないようにするといった形だ。

三村技師長は、9病院で集約しているデータの活用もしやすくなったと話す。検査薬の新規採用や変更を検討する際に他病院のデータを参考にすることが、以前はデータ管理用の端末を操作する必要があった。9病院ではMedyus2-DRのクラウドサービスを利用しているため、日頃使用している端末でデータを確認することができるという。

同センターでは、Medyus2-DRの導入により、検査薬納品時の作業効率化や時間短縮を実現。検査結果データの解析など、検査技師がより専門性の高い業務に携わることができるよう時間をつくり出している。さらに、同システムで集約したデータは、検査薬の品目選択や費用の検討にも役立っており、検査薬の院内在庫適正化を通じた病院経営への貢献にもつながっている。



渡邊氏



検査・放射線部の皆さん

試薬管理台帳の自動作成

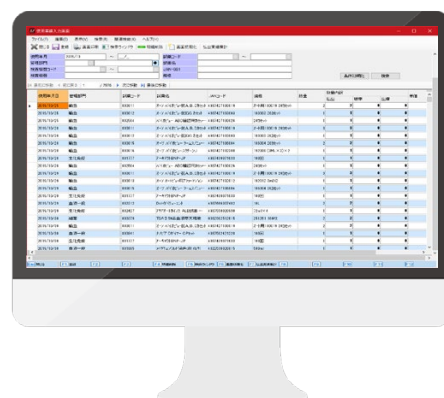
試薬管理ソフトは「Medyus2-DR」

- ・発注送信から納品情報の受信まで全てオンライン対応
- ・バーコード読み取りでLOT管理を支援
- ・改正医療法に必要な試薬管理台帳も自動作成
- ・部署/分野/機器/作業員ごとに出入庫を記録しISO15189の運用をサポート

オプションアプリの一例

- ・使用実績に基づいた検査項目別の原価計算
- ・ホルマリン小瓶の院内における出入庫管理
- ・試薬の箱/ボトル等の小分け シリアル管理
- ・運用に合わせたカスタマイズプログラムの作成

現物バーコードとシール管理の両方に対応した発注在庫管理クラウド、オンプレミスを選択可能



DR
Medyus2



病院物流を総合管理
メディアスシリーズ

Medyus2 医療材料版
Medyus2 医薬品版
各種発注在庫管理システム



株式会社メディアス

本社：〒920-8203 石川県金沢市鞍月5丁目181番地 AUBEビル6F TEL：076-255-1827
拠点：東京・大阪・福岡
www.medyus.co.jp